

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和06年06月21日(金)

事務事業		地域産業活性化事業		担当課	産業ブランド推進室	担当係	産業ブランド推進係	管理番号	38121
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり	根拠法令 個別計画等					
	小項目	2	観光資源の整備と活用						
	主要プロジェクト								
事業概要		花園IC拠点地区整備に伴い、花園エリアを核とした回遊型観光事業の推進により市内交流人口や市内での滞留時間の増加を図り、地域産業全体の活性化を目指す。							
目的 ※何のために		花園IC拠点地区からの市内回遊を促進するため							
対象 ※誰・何を対象に		市内生産者、事業者、市民、市外からの来訪者等							
手段 ※どのように		市の強みである農業、とりわけ野菜を活用し、生産者や事業者等のパートナーとともに、情報の周知や農業体験、イベント等の各種コンテンツを提供する。							
成果 ※何を求めるか		市内全域を野菜のテーマパーク化し、市内交流人口の増加を図る。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・野菜を楽しめるまちづくり戦略に関する業務				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			

## 2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		・ベジタブルテーマパークフカの推進					
事業費	予算(現額)	0	0	0	0		
	決算額	0	0	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	0	0	0		
人件費	従事職員数(人)	1.30	1.10	1.30	1.30		
	人件費相当試算※	10,230,425.00	8,811,182.00	10,869,170.00	10,869,170.00		
総事業費試算		10,230,425	8,811,182	10,869,170	10,869,170		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
成果指標 1	V T P生産者会員数（生産者、加工業者等）	目標値	件	40.00	45.00	50.00	55.00	60.00	65.00	
		実績値		63.00	66.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和２年度実績を基準とし、毎年５件ずつ会員数を増やす。/実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 2	V T P事業者会員数（飲食店、市外事業者等）	目標値	件	71.00	76.00	81.00	86.00	91.00	96.00	
		実績値		141.00	147.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和２年度実績を基準とし、毎年５件ずつ会員数を増やす。 / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 3	商品の掘り起こし、開発数（ふるさと納税お礼品）	目標値	件	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	
		実績値		146.00	182.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和２年度の実績を基準とし、農畜産物及び加工品のお礼品新規開発数を維持する。 / 実績による						
	実績値の算出式									
活動指標 1	観光回遊コースの開発数（V T Pサイトへの掲載）	目標値	件	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	
		実績値		29.00	64.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			シーズン毎に２コースの開発を目指す。 / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 4	V T Pサイト閲覧数P V数	目標値	千件	180.00	216.00	259.00	310.00	372.00	446.00	
		実績値		580.00	470.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和２年度の実績を基準に令和３年度は１．５倍、その後は毎年２０％の増加を目指す。						
	実績値の算出式									
成果指標 5	V T Pサイト閲覧平均滞在時間	目標値	分	2.00	2.25	2.50	2.75	3.00	3.25	
		実績値		1.44	1.07					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和２年度の実績から、１５秒ずつ平均滞在時間を伸ばす。						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移	
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	・食事、グルメ、カフェ、スイーツ、買い物、土産、体験レジャーなどの幅広いVTPキャストの各種コンテンツをVTPメディアにて掲載し、観光回遊に寄与することができた。 ・令和5年度については、市内観光回遊施策として「謎解き」を用いて実証実験を行い、参加者の属性や回遊についての傾向を把握し、次年度以降の取組に対する課題を整理することができた。	
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	・各指標については、概ね達成できている状況にある。 ・VTPサイトの閲覧数や滞在時間については、令和6年度にHPのリニューアルを予定しており、その中で、閲覧者のニーズにダイレクトに応えるよう改良することで、指標値の改善を図っていきたい。	
			評価者	産業ブランド推進係長 長島 洋平

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由	
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	業務フローにおいて定型業務が少ないため、ICTの活用領域は狭いが、オンライン会議ツールの活用により、事務の効率化に努めている。	
			評価者	産業ブランド推進係長 長島 洋平

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	令和4年度に実施した回遊施策の実証実験をもとに、移動時間のアクティビティ化など、花園IC拠点地区を起点とした観光回遊施策の更なる推進を図る。 また、従来の観光コンテンツの展開に加え、生産者や事業者といったVTPパートナー同士による付加価値の高い魅力的な観光コンテンツの開発及び実施により、観光回遊施策の更なる推進を図る。
達成状況及び その効果	観光回遊施策の更なる促進のため、移動手段としてトゥクトゥクを活用したり、車両や電動自転車を扱う民間事業者と協力を重ねるなど、関係値向上に努めている。 VTPキャストによる観光コンテンツの開発については、深谷テラスパークの自主事業と共催にて「深谷パンまつり」を企画・実施するなど、自発的なコンテンツ開発の動きが出てきている。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	地域産業活性化事業	担当課	産業ブランド推進室	担当係	産業ブランド推進係	管理番号	38121
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		各指標については、概ね達成できている。 一方で、令和4年の花園IC拠点地区の各施設開業以来、確実に増加した昼間人口の市内回遊を促進させるため、各種コンテンツの観光化、回遊に必要なアクティビティの開発、VTPメディアの更なる効果的な運用を図る必要がある。					
		評価者	産業振興部次長兼産業ブランド推進室長 福島 正孝				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	・観光回遊の促進に向け、現場発の各種コンテンツの観光コンテンツ化を図る。 ・VTPサイトのリニューアルにより、閲覧者のニーズにダイレクトに応えられるよう、見せ方を工夫するとともに、内容の充実を図る。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

